

ギガ・スクール構想と新型コロナについて論戦します

◆◆新型コロナウイルス感染症対策◆◆

(1)PCR検査

問 PCR検査センターについて、詳細を明らかにしてください。

問 検査の目的は「防疫」であることをはっきりさせて、感染が連鎖的に発生した場合には、住民、従業員全員の検査を行うべきではありませんか。

問 医療従事者、介護職員、障がい者施設の職員、学校関係者、保育園・幼稚園などの職員は、全員を対象に定期的に検査を実施すべきではありませんか。

(2)新たな流行シナリオに基づく医療提供体制の整備

問 今後の推定患者数、確保すべき病床数、現時点で確保している病床数、そのうち重症者に対応できる病床数を、釧路管内分について明らかにしてほしい。

問 無症状の方などを対象とした宿泊療養施設について、確保すべき部屋数とすでに確保した部屋数について示してください。

問 エクモは市立病院は2台しかありません。エクモを増やす考えはありませんか。

(3)インフルエンザとの同時流行の対応

問 インフルエンザと同時流行した場合は、インフルエンザと新型コロナの両方の検査を行うことが原則です。両方の検査をどうやるのか。医療提供体制をどう整えるのか、お聞かせください。

2020.9.6

村上かずしげ通信

日本共産党釧路市議団 23-5212

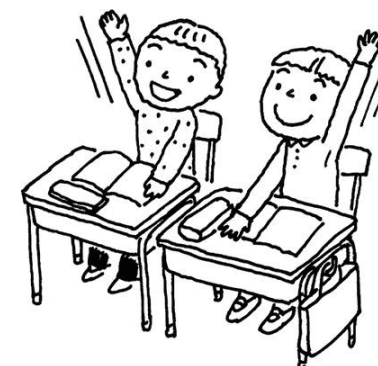
◆◆GIGA スクール構想◆◆

問 現場の先生は、「オンライン朝会で休校中の子どもたちの様子を確認することはよいが、低学年でオンライン授業が成立するとはとても思えない」「調べ学習のツールとしてインターネットは有効だが、それ以上のものにはならない」と言っています。この声をどう受け止めますか。

問 子どもがオンライン授業に集中するには、家族のサポートは不可欠。サポートする家族がいない家庭はどうしますか。

問 GIGA スクール構想は、一人ひとりの子どもが、同じ教室で、タブレットを通し、それぞれの理解度に応じて別々に配信される教材を、各自が個別に勉強することがメイン。これは、「集団の学び」からの変質に他なりません。こうした方向に授業を大きく変えてよいのでしょうか。

問 教員はよい授業をするために、しっかり授業準備の時間を取りたいと思っていますが、それもできないほど学校現場は忙しい。デジタル教材を教員に使わせるよりも、教員の過重労働を減らすことが大事ではありませんか。AIドリルなどを理解度にあわせて反復させれば、かえってこれまで以上に画一的な授業になりかねないではありませんか。



9月2日から市議会が始まります。村上かずしげ議員は、4日(金)午前10から一般質問に立ちます。今回は①GIGAスクール構想 ②新型コロナウィルス感染症対策 ③小規模コミュニティ施設のトイレの洋式化の3点を質問します。今回のニュースでは、そのうち2つの質問内容を紹介します。

言葉の説明

「ギガスクール構想」

文科省はインターネットビジネス社会を勝ち抜く人材を養成するために、子ども一人に一台のタブレット端末を配布することを決めました。このタブレットを使って子どもたちは、授業も宿題もすることになります。